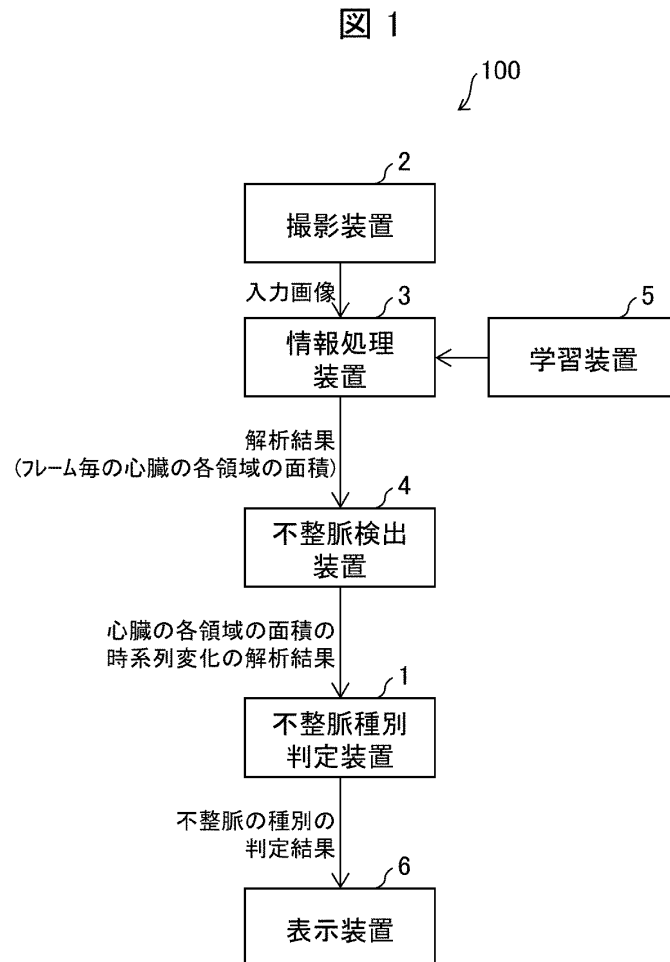
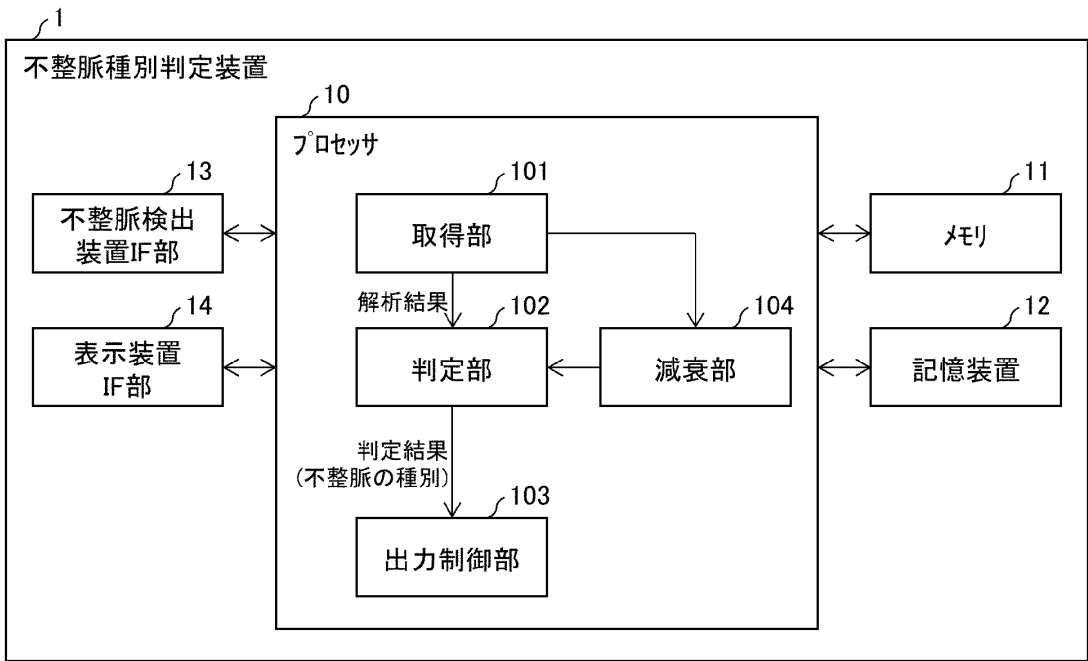


【図1】



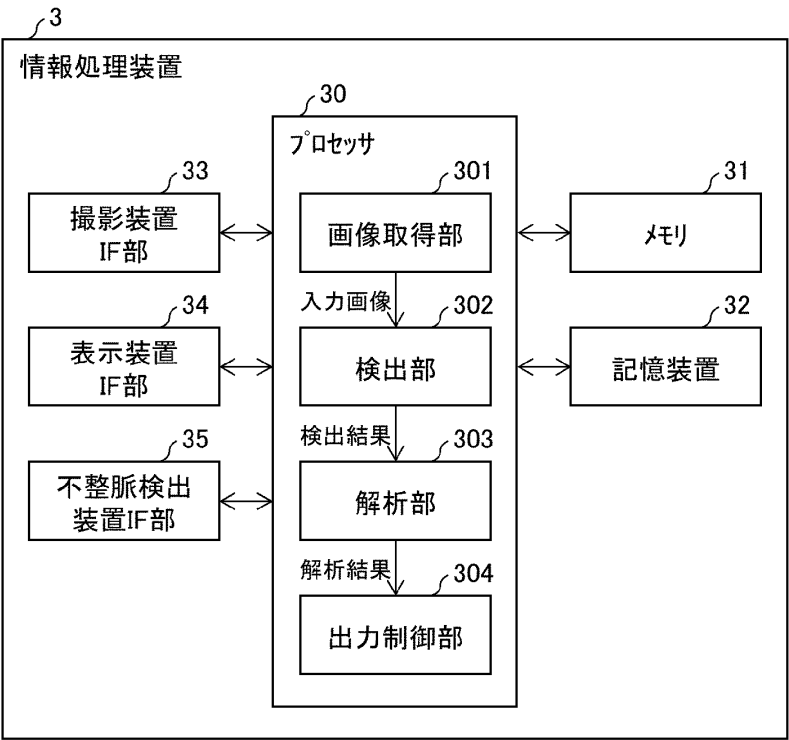
[図2]

図 2



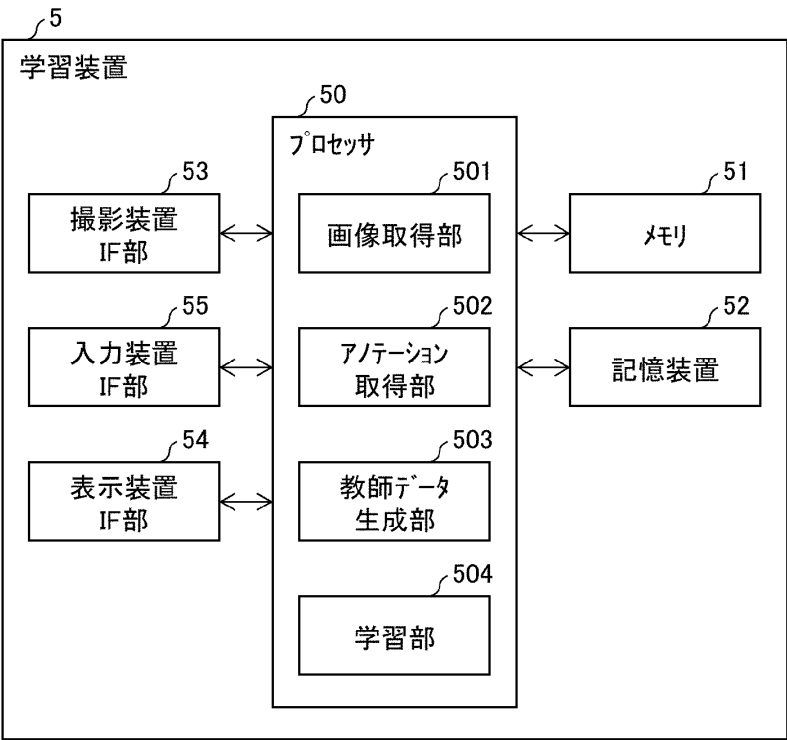
[図3]

図 3



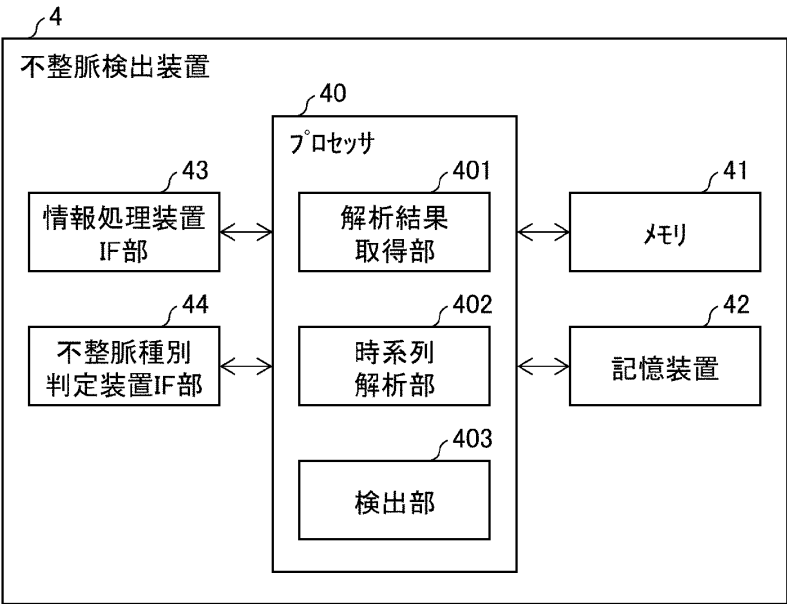
[図4]

図 4



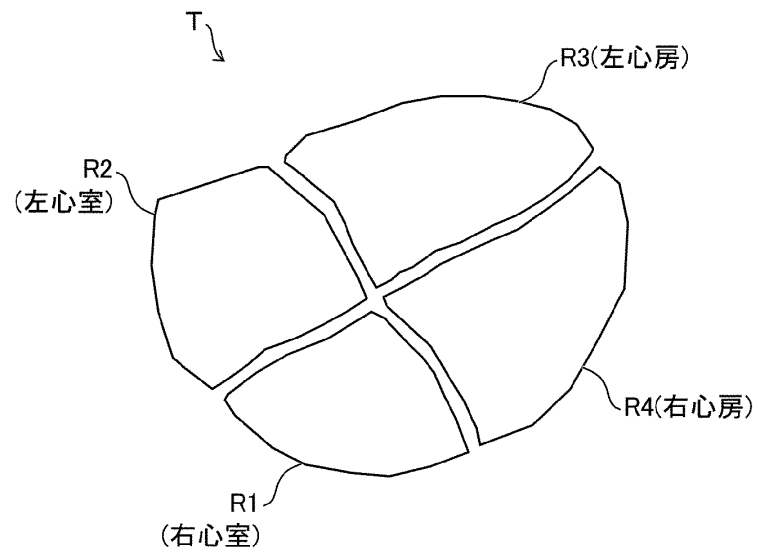
[図5]

図 5

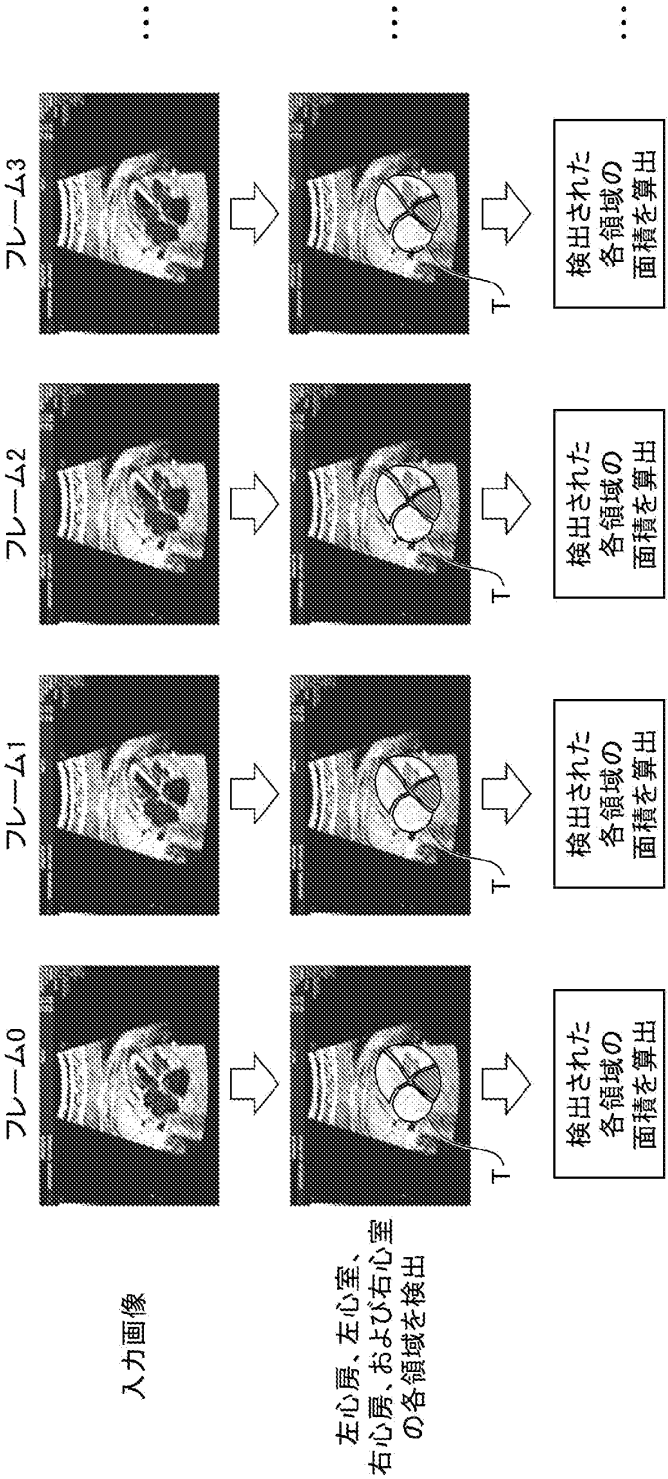


[図6]

図 6

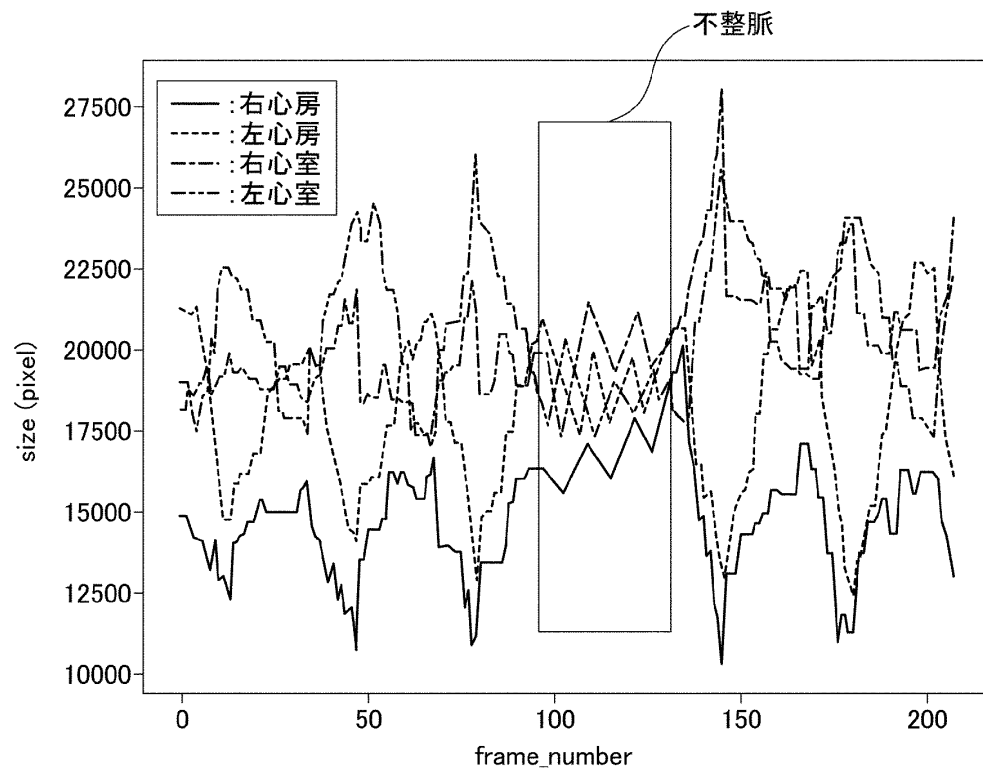


[図7]

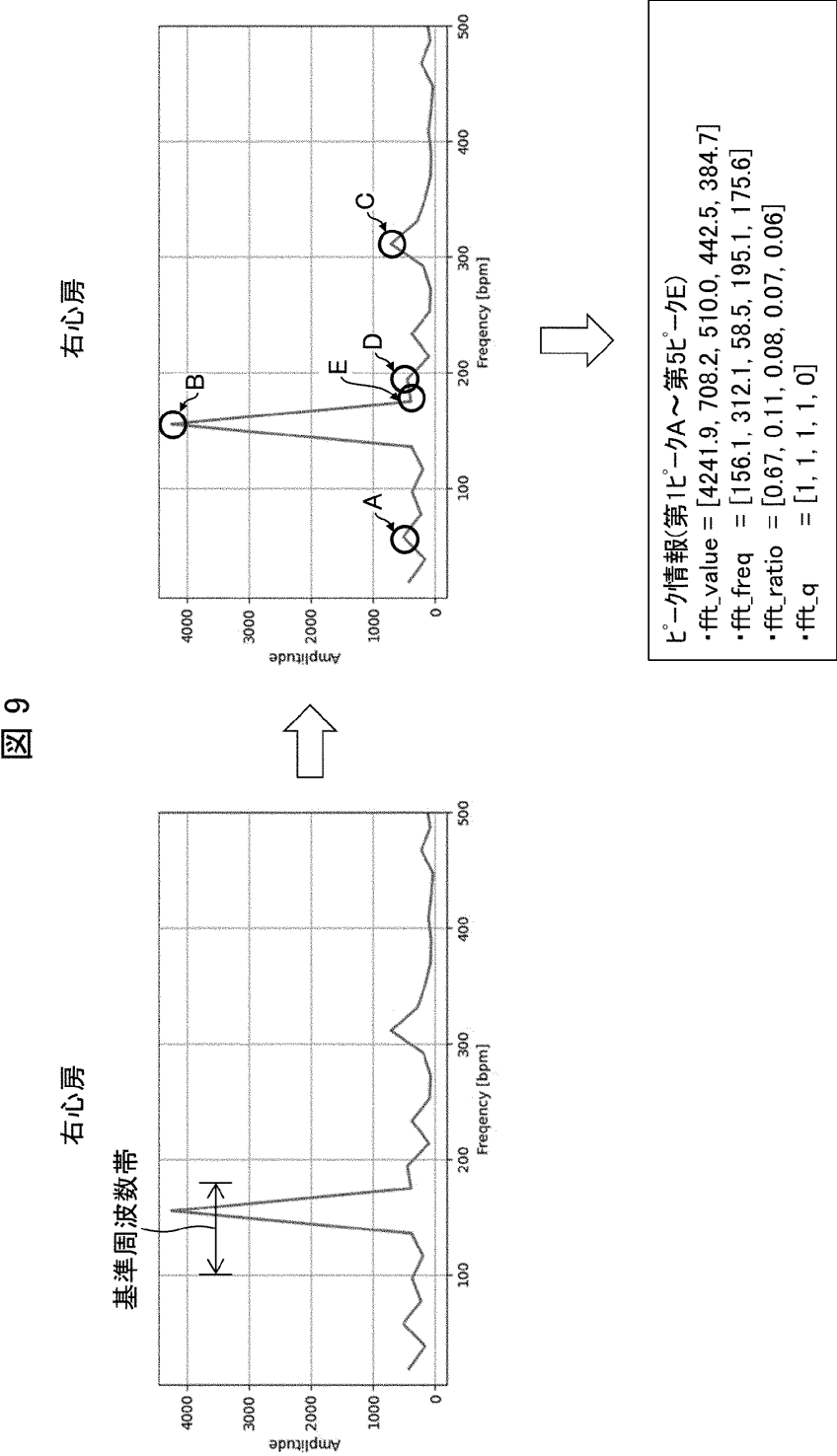


[図8]

図 8

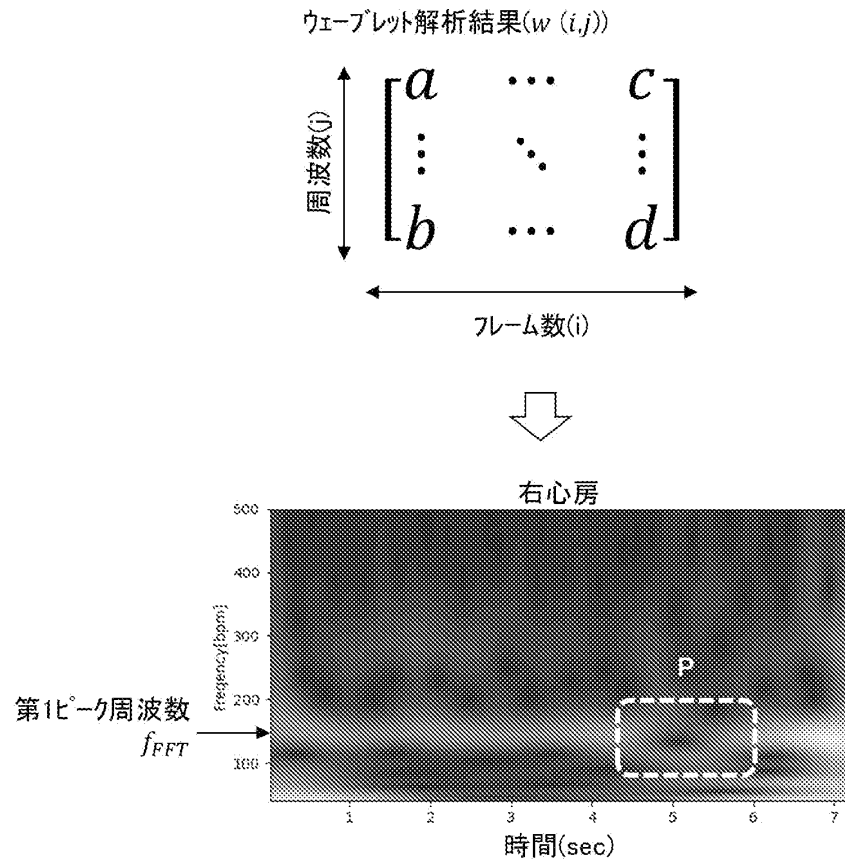


[図9]



[図10]

図 10



[図11]

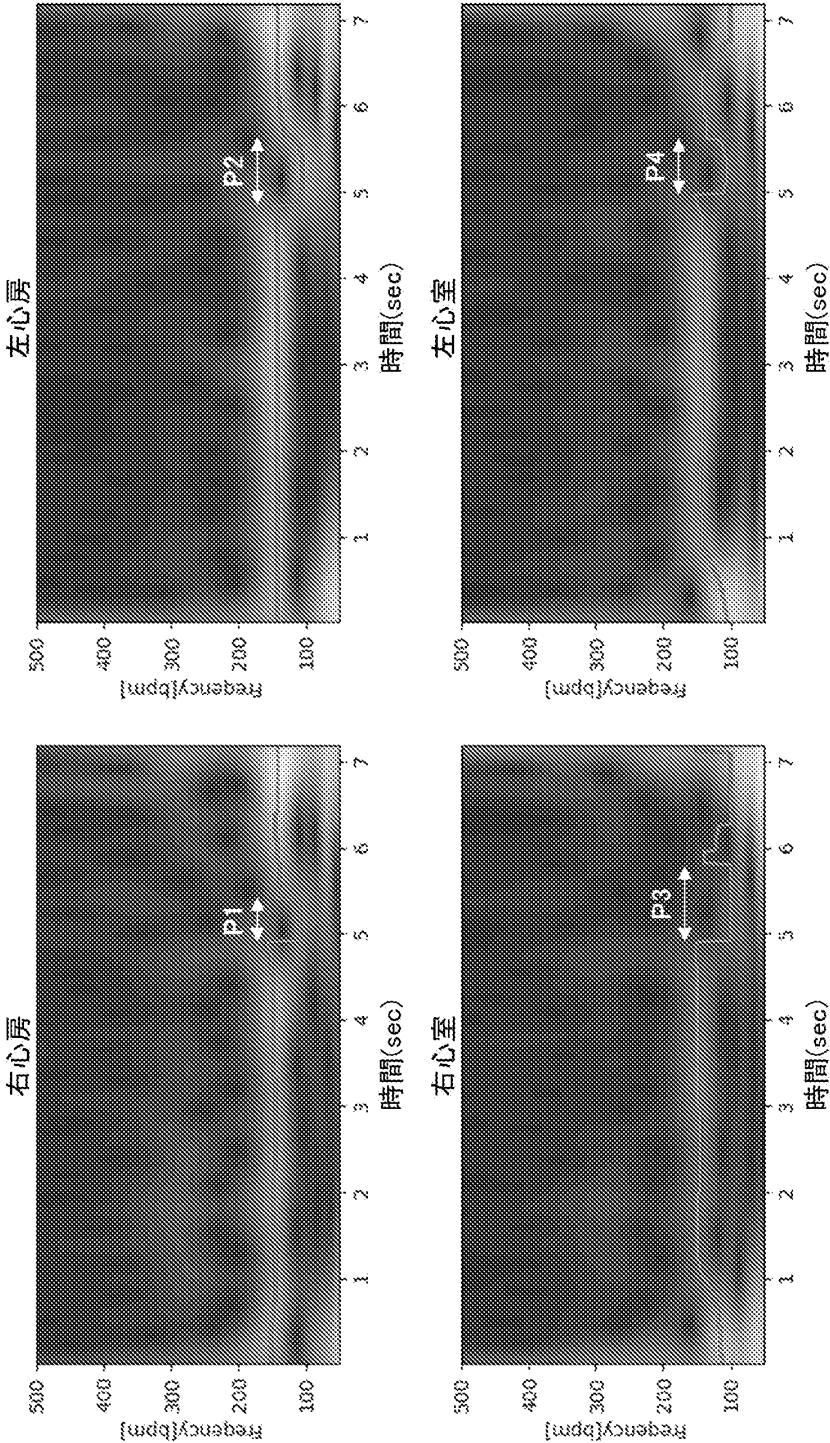
図 11

$$w'_{i,j} = \frac{w_{i,j}}{1 + \frac{|f_i - f_{FFT}|}{\alpha}}$$

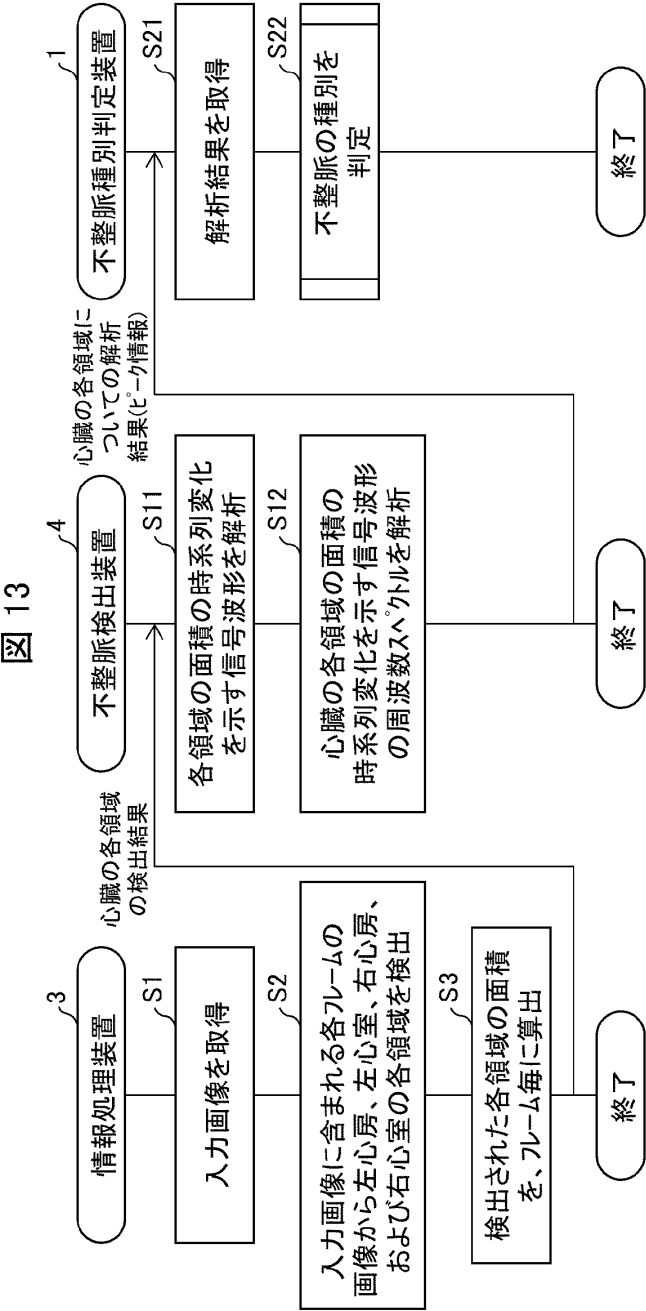
- f_{FFT} : 第1ピーク周波数
- $w_{i,j}$: ウェーブレット解析結果(第jフレーム、第i周波数)
- α : 補正の強さの調整パラメータ(小さいほど補正が強い)

[図12]

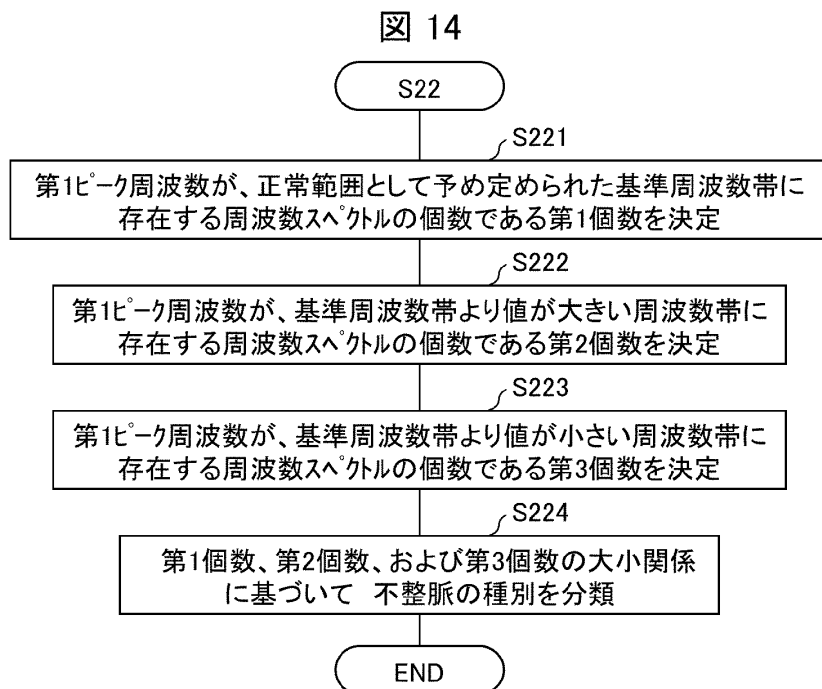
図 12



[図13]



[図14]



[図15]

図 15

第1°-ク周波数が基準周波数帯より値が大きい周波数帯に存在する	第1°-ク周波数が基準周波数帯より値が大きい周波数帯に存在する	第1°-ク周波数が基準周波数帯より値が大きい周波数帯に存在する	第1°-ク周波数が基準周波数帯より値が大きい周波数帯に存在する	第1°-ク周波数が基準周波数帯より値が大きい周波数帯に存在する	不整脈の種類
4	0	0	1	3	2
0	4	0	2	0	1または3
0	0	4	0	2	
3	1	0	2	2	2または3
3	0	1	1	1	1
1	3	0	2	1	3
1	0	3	1	2	2
0	3	1			

不整脈の種類分類
1:心房粗動(AFL)または上室性頻拍(SVT)
2:洞性徐脈または完全房室ブロック(CAVB)
3:正常または完全房室ブロック(CAVB)
または上室性期外収縮(PAC)または心室性期外収縮(PVC)

[図16]

図 16

		正解ラベル						
		正常	PAC	AFL	洞性徐脈	PVC	CAVB	SVT
分類結果	正常	67	14	3	0	7	11	6
	PAC	67	14	3	0	7	11	6
	AFL	0	0	9	0	0	0	13
	洞性徐脈	0	0	0	3	1	19	0
	PVC	67	14	3	0	7	11	6
	CAVB	67	14	3	3	8	24	6
	SVT	0	0	9	0	0	0	13
計		67	14	12	3	8	24	16

[図17]

図 17

		正解	
		洞性徐脈	CAVB
判定結果	洞性徐脈	3	19
	CAVB	3	19

⇒

		正解	
		洞性徐脈	CAVB
判定結果	洞性徐脈	3	1
	CAVB	0	18